

見どころ案内

キレンゲショウマ (アジサイ科)

本州、四国、九州の標高が高い涼やかな地域に自生する大型の草本植物。小説「天涯の花」で紹介されたことで人気のある山野草です。蕾はナスのような形で、黄色い花を咲かせます。

サギソウ (ラン科)

シラサギが羽を広げたような花を咲かせることから、名前がつけられました。当園のシンボルマークにもなっている、可憐な花です。広島県の絶滅危惧種になっています。

熱帯スイレン “ムラサキシキブ”

(スイレン科)

昼開性のスイレンで白い花弁の先が紫になります。小型で作りやすい品種です。

サガリバナ

(サガリバナ科)

熱帯・亜熱帯のマングローブ植物。花は夜に咲き、翌朝には落花します。曇天時には午前中まで花が残っていることも。

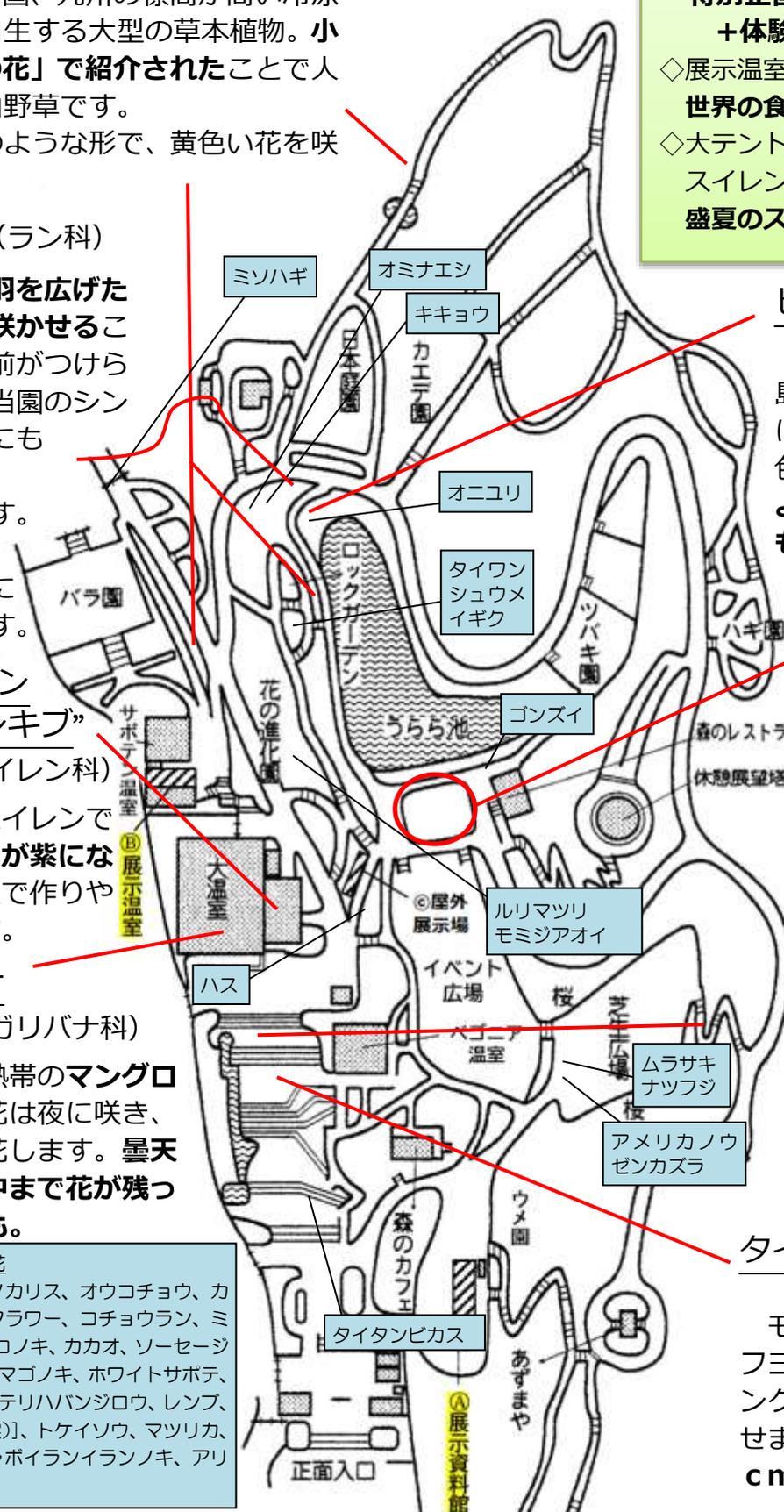
★大温室で見頃の花

サガリバナ、ヒメノカリス、オウコチョウ、カエンボク、デビルフラワー、コチョウラン、ミカドアナナス、[タコノキ、カカオ、ソーセージノキ、コショウ、タマゴノキ、ホワイトサボテ、バナナ、ココヤシ、テリハバンジロウ、レンブ、コーヒー (以上は実)]、トケイソウ、マツリカ、ハイビスカス、チャボイランイランノキ、アリアケカズラ



展示会のご案内

- ◇展示資料館 (6/17~9/18)
特別企画展「牧野富太郎と広島」
+体験コーナー
- ◇展示温室 (7/20~8/15)
世界の食虫植物展
- ◇大テント前、
スイレン温室など (7/8~9/24)
盛夏のスイレン展



ヒゴタイ (キク科)

本州や九州、中国や朝鮮半島に分布しています。アザミに似た葉を持ち、球状の瑠璃色の花を咲かせます。地域によって、盆に供える花としても利用されます。

ヒマワリの丘

約 1,400 株のヒマワリ“サンフィニティ”が満開です。小ぶりな花が次々とたくさん咲き、夏の間長く楽しめます。

キバナランタナ

(クマツヅラ科)

黄色い花が半球状にまとまって咲きます。斑入りの葉を持つ品種なので、カラーリーフとしても人気があります。原種とは違い、花色が変化することはありません。

タイタンビカス

(アオイ科)

モミジアオイとアメリカフヨウの交配種で白、赤、ピンクなどの大きな花を咲かせます。大きなものだと 25 cm もの花が咲きます。